

認知症サポーター養成講座 受講者募集

奥出雲町では、今年度から認知症サポーター養成講座に「**認知症のある方の視点で学ぼう！
認知症世界の歩き方forサポーターズ**」が加わりました

「認知症世界の歩き方」とは・・・

認知症の方の声をもとに「旅のスケッチ」「旅行記」としてストーリー形式になっており、認知症の方の見える世界をわかりやすく身近に感じながら認知症について学んでいただけるような教材となっています。また、「相談先」「対応の仕方」「生活環境」など色々な解決のためのヒントを知ることできます。この世界のできごとは認知症の方だけでなく、誰もが体験することでもあります。



【お問い合わせ・申し込み先】

奥出雲町地域包括支援センター

電話：54-2512 有線：31-5000（内線5283）

日本の認知症のある方の数は、2025年には700万人になると言われ、2050年には1000万人を超えと言われています。認知症とともに生きる時代の中で自分が大切な人が暮らすため必要なことを学んでみませんか。

対象：認知症に関心のある奥出雲町在住の方

時間：60分～90分

人数：おおむね5人以上
少人数でも可能・ご相談下さい

費用：無料

場所：奥出雲町内であればどこでも講師が伺います

*講座の内容については申し込み時にご確認下さい
今までの内容の講座を受けることもできます

認知症サポーターとは

認知症サポーター養成講座を受けた方が（認知症サポーター）となります。
サポーターとは特別なことをする必要はありません。認知症について正しく理解をしてもらい出来る範囲でお手伝いをする応援者です。

有害鳥獣の捕獲・駆除実績

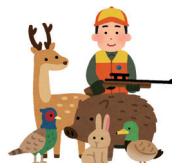
町では、有害鳥獣捕獲班の皆さんに有害鳥獣を捕獲・駆除していただいています。令和6年5月の捕獲・駆除頭数実績は次のとおりです。

地域	ニホンジカ	イノシシ	タヌキ	カラス	サギ類	その他
仁多地域	2	16	14	58	0	9
横田地域	9	18	9	1	0	9
合計	11	34	23	59	0	18

※その他は、アナグマ、ヌートリア等の合計です。

有害鳥獣による農作物被害があった場合は、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】 農業振興課 農業生産係
電話：52-2679
有線：20-4000（内線4336）



有線電話番号簿

【掲載変更】

○布勢・中村（21-1930）
岸本 和男

岸本 義弘

○三成・朝日町（32-1263）
藤原 昭義

藤原 良美

盆のごみ収集と持込の休業日について

盆期間中のごみ収集と持込の休業日については、下表のとおりです。

8月	12日 (祝)	13日 (火)	14日 (水)	15日 (木)	16日 (金)	17日 (土)
収 集	通常	通常	盆 休 業	盆 休 業	通常	通常
持 込	休 業	通常	盆 休 業	盆 休 業	通常	通常

【お問い合わせ】 町民課 町民係 電話：54-2510 有線：31-5000（内線5107）



奥出雲町商工会 6月10日「商工会の日」に合わせて 地域貢献活動を行いました

女性部

出雲三成駅と出雲横田駅の駅の窓拭きや植込みの草取り、蜘蛛の巣取りなどに汗を拭いながら取り組まれました。
和久利直子部長は「駅は町外からのお客様も多いので、いい気持ちで奥出雲をより楽しんでいただけるかなと思います」と笑顔で話されました。



▲横田駅清掃に参加された皆さん



▲三成駅にて



▲三成駅清掃に参加された皆さん

商工会青年部全国統一事業「絆」感謝運動として、今年度は町内全小学校から「困りごと」を募集し、阿井小学校の困りごとを解決！
児童や先生、地域の方たちと協力して校庭の草取りや枝木拾いなどに取り組まれました。また、垣根の剪定やベランダの泥や苔の撤去など、青年部ならではの作業も！学校がより生活しやすい環境に整備されました。



▲「祈りの桜」の周りも草を抜きました



▲阿井小清掃に参加された皆さん

青年部

「災害時における無人航空機による災害対策活動に関する協定」締結
奥出雲町は、有限会社ヒラオカ（島根ドローンサービスセンター）と「災害時における無人航空機による災害対策活動に関する協定」を締結し、調印式が6月13日に仁多庁舎で行われました。
この協定は、町内において自然災害や大規模事故等が発生した場合に、ドローンを用いて被災地域の確認、行方不明者の捜索、各種物資の輸送などを円滑に実施することを目的としています。
協定締結により、災害時における応急対策を早期に行うことが可能となり、速やかな復旧・救援活動に役立つことが期待されます。
協定締結に際し、有限会社ヒラオカの平岡官植専務は「奥出雲町と密接に連携し、地域住民の皆様の安全・安心を守るために最善を尽くしてまいります」と挨拶されました。



▲糸原町長(左)と平岡専務(右)